



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2015年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 和泉雄一 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】

秋季学術大会関連のご案内 認定資格申請のお知らせ 各賞・助成等の選考結果と募集
合宿研修会開催報告 学会主導型シンポジウム開催報告 利益相反への取り組み

理事長挨拶



理事長 和泉雄一

平成 27 年 4 月から 2 年間、日本歯周病学会理事長を拝命することになりました。よろしくお願いいたします。本学会は、昭和 32 年日本歯槽膿漏学会として設立されてから、もうすぐ 60 年を迎えようとしています。その間多くの先輩方のご尽力により、会員数 10,000 名を目前とする学術団体・特定非営利活動法人として世界の歯周病学・歯周治療学をリードしています。本学会のさらなる発展のために、粉骨砕身努力する所存です。

「歯周病学における研究・医療・教育のグローバルスタンダードを目指す」をスローガンに掲げ、いくつかの重点項目を提案いたします。1) 基礎および臨床歯周病学の情報発信の強化、2) 医科との連携を推進し、健康を脅かす歯周病克服の重要性を共有する、3) 歯周病の医療体制の強化として、各種ガイドラインの充実、厚労省との密接な連携、4) 歯周治療の医療人育成の推進として、認定医・専門医制度および認定歯科衛生士制度の充実、5) 国民への歯周病情報の発信、6) 国際

交流の推進等に、積極的に取り組みます。さらに、永田前理事長のご尽力により学会誌のオンライン化とニュースレターの発行、会員カード発行と会員管理システムの整備が始まります。

歯周病の疫学調査で注目すべきことは、7 割以上の患者のうち、実際に重篤な患者は検査集団の 8~12% にすぎず、それ以外は軽度から中等度の患者であるということです。これは、歯周病が避けられないものではなく、口腔内への関心をもち、十分なプラークコントロールを行うなどの生活習慣の改善によって、予防・治療・管理が可能であることを示しています。そのために、患者みずからが自己管理できる効果的な情報提供・技術指導を基本とし、高齢社会・格差社会において一層多様化する患者のニーズと歯科医学的に必要な技術の両面からの確かな治療を提供できる力が必要です。さらに、全身的視点から歯周病を俯瞰できる研究姿勢と体制作り、また国際交流、特にアジア各国と連携を深め、アジア民族としての歯周病・歯周治療の教育・研究を推進し、新たな検討事項を見いだしていくことも重要です。

このような状況のなかで本学会には、それに即応した具体的かつ実践的な対応が求められています。各大学・研究機関・歯科臨床医が連携し、ビッグデータを共有し、成熟した研究と研鑽を重ねていくことが急務です。学会員皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第 58 回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

第 58 回秋季日本歯周病学会学術大会を下記のとおり開催いたします。多数の皆様のご参加とご発表をお願いいたします。ご案内申し上げます。

大会長 吉成伸夫

1. 会期 平成 27 年 9 月 11 日 (金), 12 日 (土), 13 日 (日)

2. 会場 アクトシティ浜松
〒 430-0928 静岡県浜松市中区板屋町 111-1
TEL : 053-451-1111

3. 日程

前 日 : 認定医筆記試験, 各種委員会, 理事会, 理事懇親会

第 1 日 : シンポジウム I, 総会・評議員会・表彰式, 中国牙周病学会代表講演, 研究委員会企画講演, Young Investigator Award 口演, 国際セッション, 特別講演 I, 市民公開講座, 一般発表 (口演・ポスター), ランチョンセミナー, 企業展示, 会員懇親会

第 2 日 : 倫理委員会企画講演, 特別講演 II, III, シンポジウム II, 日本歯科医学会会長講演, 認定医・専門医教育講演, 歯科衛生士シンポジウム, 歯科衛生士教育講演, 一般発表 (口演), 臨床ポスター (認定医・専門医), 歯科衛生士発表 (口演・ポスター), ランチョンセミナー, 企業展示

※本学術大会より, 秋季学術大会の会期が 2 日間に戻ります。日程をご確認のうえ, 多数ご参加いただきますようお願いいたします。プログラム詳細は学術大会ホームページ <http://www2.c-linkage.co.jp/jspf58/> (日本歯周病学会ホームページ <http://www.perio.jp> からリンクしています) をご覧ください。

4. 参加登録費 (事前参加登録および当日参加登録)

	事前参加登録	当日参加登録
正会員 (歯科医師・医師)	5,000 円	7,000 円
準会員 (上記以外)	3,000 円	4,000 円
非会員 (歯科医師・医師)	10,000 円	12,000 円
非会員 (上記以外)	5,000 円	7,000 円
学生 (歯学部・専門学校生)	——	1,000 円

事前参加登録期間

平成 27 年 5 月 17 日 (日) 正午より

平成 27 年 7 月 31 日 (金) 正午まで

※事前参加登録の詳細は学術大会ホームページにて, Young Investigator Award, ランチョンセミナー, 宿泊と併せてご案内いたします。

5. 一般演題 (口演・ポスター発表), および国際セッション演題登録

学術大会ホームページよりご登録ください。

抄録作成については, ホームページ記載の執筆要綱 (5 月上旬に公開予定) をご確認ください。準備中に登録された抄録については削除されますので, 登録期間以前にはアクセスしないようお願いいたします。なお, 郵送による演題登録は原則として受け付けておりません。諸事情のためオンライン登録が不可能な場合には, 日本歯周病学会学術大会運営事務局 (株式会社コンベンションリンケージ FAX : 03-3263-8693, E-mail : jsp-endai@c-linkage.co.jp) までご連絡ください。

1) 演題発表資格

学術大会での発表は, 1 名 1 演題までです。発表者は必ずしも本学会会員である必要はありません。ただし, 非会員が発表者の場合, あるいは共同発表者に含まれる場合は 1 名につき 5,000 円を抄録掲載料としてご負担いただきます。なお, この抄録掲載料は本学術大会にのみ有効です。

2) 演題および抄録登録機関

平成 27 年 5 月 17 日 (日) 正午より

平成 27 年 5 月 31 日 (日) 正午まで (締切厳守)

登録期間終了日は, アクセス集中によるエントリー遅延, 不具合が起りやすいので, 早めに登録をお済ませください (登録期間以降は, 受付・オンライン修正・削除はできません)。

一般演題 (口演・ポスター発表), 国際セッションの演題登録, 発表方法に関する詳細は, 学術大会ホームページで案内予定です。

演題登録時には登録サイトにて, 留意事項を必ずご確認のうえ, 応募くださいますようお願い申し上げます。留意事項を逸脱する行為, 演題内容は発表をお断りすることがあります。

6. 一般演題の発表方法

口演発表の発表時間は, 1 演題 8 分以内, 質疑応答 2 分です。PC (Windows Microsoft PowerPoint 2007 以降) による発表とさせていただきます。Macintosh をご使用の場合は, ご自身で PC, アダプターをお持ちください。

ポスター発表のポスターのパネルサイズは, 高さ

210 cm×幅 90 cm とします。

詳細は、学術大会ホームページをご参照ください。

なお、臨床研究の場合は所属機関の倫理委員会の承認、症例報告の場合には患者の同意、発表内容に関して利益相反に関する内容を明記してください。

7. 国際セッション募集のご案内

大会 1 日目、14 時 20 分から行う国際セッションの演題も募集いたします。口頭発表（英語発表）8 演題で、4 演題は国内から、4 演題は海外からの発表者を予定しております。発表時間は 1 演題 10 分以内、質疑応答 2 分です。皆様のご応募をお待ちしております。

8. Young Investigator Award のご案内

本賞は、日本歯周病学会会員による学術大会発表において、優れた研究を発表した若手研究者を表彰することを目的としております。表彰対象は、本学会評議員の推薦を得て、当該年度の日本歯周病学会 Young Investigator Award に応募し、学術大会において発表された口頭発表の筆頭発表者で、2 年以上の会員歴を有する、33 歳未満の者であることが条件となっております。また、受賞者には本賞（Young Investigator Award 賞状）のほかに、サンスター株式会社から副賞 5 万円と盾（Sunstar Award）が贈られます。なお、最終審査は大会期間中に行い、大会 2 日目、9 月 13 日（日）15 時より A 会場において受賞者の発表を行います。

9. Young Investigator Award 聴講者募集のご案内

本学術大会において開催される、第 1 回日本歯周病学会 Young Investigator Award の聴講者を募集いたします。

本学術大会 1 日目、9 月 12 日（土）13 時 10 分から

C 会場にて、すでに応募された演題のなかから一次審査で選出された 5 演題について、最終審査のための口頭発表を行います。多数の皆様のご聴講をお待ちしております。

6 月 1 日から 7 月 31 日の期間に、本学術大会の事前参加登録をされた方のみ、Young Investigator Award 聴講の事前登録を受け付けます。まず、学術大会の事前参加登録を行っていただき、登録時に発行される ID とご登録の E-mail をご用意のうえ、手続きを行ってください。お昼の時間帯ですので、聴講者の皆様には、ランチョンセミナーと同様にお弁当を配布いたします。事前登録の詳細は学術大会ホームページをご確認ください。同時に開催されるランチョンセミナーとの併せてのご登録はできませんので、ご承知おください。数に限りがございます。ご登録後のキャンセルは、他の方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

10. 会員懇親会のご案内

9 月 12 日（土）18 時 40 分から、展示イベントホールにて会員懇親会を行います。詳細は学術大会ホームページをご覧ください。

第 58 回秋季日本歯周病学会学術大会
準備委員長 三木 学（松本歯科大学歯科保存学講座）
第 58 回秋季日本歯周病学会学術大会運営事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町 2 三番町 KS ビル
株式会社コンベンションリンケージ
TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8693
E-mail：jspf58@c-linkage.co.jp

第 58 回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター （認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表申し込みのご案内

学術大会における臨床ポスター（認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表の演題募集は、一般演題とは別になります。下記の要領でお申し込み頂くこととなりますが、受付は下記の Web サイトのみからになりますのでご注意ください。

<http://www2.c-linkage.co.jp/jspf58/>（学会ホームページ <http://www.perio.jp> から入れます）

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は 5 月上旬にサイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリごとに必ずご確認ください。なおオンラインでの申し込みが不可能な方は、第 58 回秋季日本歯周病学会学術大会運営事務局

（FAX：03-3263-8693、E-mail：jsp-endai@c-linkage.co.jp）までお問い合わせ下さい。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリとも、筆頭発表者が学会認定資格（認定医・歯周病専門医あるいは認定歯科衛生士）を有している必要はありません。また本学会会員以外の方でも発表可能です。ただし非会員が筆頭あるいは共同発表者として含まれる場合は、1 名につき 5,000 円を本学術大会限りの抄録掲載料として申し受けます。また、本学術大会における筆頭発表は 1 名 1 演題までといたします。詳細は Web サイトをご参照くだ

さい。

2. 演題申込および抄録登録期間

平成 27 年 5 月 17 日（日）正午より

平成 27 年 5 月 31 日（日）正午まで

※登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延、不具合が起りやすいので、それ以前の早めの時期に登録をお済ませください。

その他、演題申し込み時には登録サイトにて、留意事項を必ずご確認のうえで応募くださいますようご案内申し上げます。留意事項を逸脱する行為および演題内容については発表をお断りすることがあります。**特に「国内未承認薬・材料・機器の使用」「適応外使用」「未承認治療法」に係る症例は臨床ポスターとしての発表は不可です。また臨床研究発表では所属機関の倫理委員会等の承認、症例報告の場合は患者の同意を得ていることをポスターに明記する必要がありますので、ご注意ください。**

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます（専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位）。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ 210 cm×幅 90 cm といたします。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を Web サイトにてご案内しておりますのでご確認ください。演題番号の個所や顔写真の掲示場所、承認や同意の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されておりますので必ずご確認ください。なお、演題登録後における抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。ただし、なんらかの事情で発表ができなくなった場合は運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

本発表は、カテゴリごとに認定医・専門医優秀ポスター賞、ベストハイジニスト賞の選考対象となります（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外となります）。受賞発表および表彰は次回学術大会（第 59 回春季日本歯周病学会学術大会）にて行われます。その際、認定医・専門医最優秀・優秀臨床ポスターについては再掲をいたしますので、発表ポスターの保管にご協力願います。

（専門医委員会委員長 坂上竜資、
認定医委員会委員長 中島啓介、
歯科衛生士関連委員会委員長 澁谷俊昭）

認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 認定歯科衛生士申請（第 21 回認定歯科衛生士認定審査）および更新

平成 27 年 5 月 18 日（月）：受付開始

平成 27 年 6 月 5 日（金）：締め切り（消印有効）

平成 27 年 6 月下旬：申請および更新に関する書類審査会開催

平成 27 年 7 月下旬～8 月上旬：（申請者のみ）ケースプレゼンテーション

平成 27 年 9 月 11 日（金）：申請・更新合格者を理事会で承認

平成 27 年 9 月 12 日（土）：第 58 回秋季学術大会時合格発表

平成 27 年 10 月：認定歯科衛生士認定証発行

2. 専門医・指導医申請（第 53 回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新

平成 27 年 5 月 25 日（月）：受付開始

平成 27 年 6 月 12 日（金）：締め切り（消印有効）

平成 27 年 7 月中旬：申請および更新に関する書類審査会開催

平成 27 年 8 月下旬：（専門医申請者のみ）専門医認定試験（ケースプレゼンテーションと口頭試問）開催

平成 27 年 9 月 11 日（金）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

平成 27 年 9 月 12 日（土）：第 58 回秋季学術大会時に合格発表

平成 27 年 10 月：専門医・指導医認定証発行

3. 認定医申請（第 14 回認定医認定審査）および更新

平成 27 年 6 月 15 日（月）：受付開始

平成 27 年 7 月 3 日（金）：締め切り（消印有効）

平成 27 年 7 月下旬：申請および更新に関する書類

審査会開催

平成 27 年 9 月 11 日（金）：（申請者のみ）筆記試験

会場：アクトシティ浜松

申請・更新合格者を理事会で承認

平成 27 年 9 月 12 日（土）：第 58 回秋季学術大会時に合格発表

平成 27 年 10 月：認定医認定証発行

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。なお、規則・細則は改訂されることがありますので、ホームページにおける申請受付前 1 カ月以内の最新の記載内容を確認して下さい。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医を養成する歯科医療機関を認定する

制度です。申請・更新受付とも期間は平成 27 年 5 月 25 日（月）～6 月 12 日（金）（消印有効）です。申請・更新手続きについては、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行って下さい。

認定医・専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得対象研修会としての認定をする制度です。申請期間は平成 27 年 5 月 25 日（月）～6 月 12 日（金）です。手続きの方法等を学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行って下さい。平成 27 年 7 月末頃までに専門医委員会の審査による認定の可否を通知いたします。

学術賞・研究助成・研修会等のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

1～3 はホームページからの申請です。

申請期間：平成 27 年 4 月 20 日～6 月 19 日（共通）

申請書類提出用ユーザー名：JSP-2015（共通）

1. 第 15 回日本歯周病学会学術賞（2015 年度）

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（学術賞盾）のほかに副賞 20 万円と盾（LION Award）が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<http://www.perio.jp/member/award/science.shtml>

書類提出用パスワード：JSP2015Gakujutsu

2. シーズ育成若手奨励研究助成（2016 年度）

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手症例研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<http://www.perio.jp/member/assist/>

書類提出用パスワード：JSP2015Seeds

3. 企画調査研究助成（2016 年度）

本会では、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながる多施設研究を推進することを目的として、企画調査研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<http://www.perio.jp/member/assist/>

書類提出用パスワード：JSP2015Project

4. 第 2 回「若手研究者の集い」合宿研修会

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。講演会と懇親会を含む 1 泊 2 日の合宿形式のイベントです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

会期：平成 27 年 9 月 11 日（金曜：学術大会前日）

15 時から

会場：オークラアクトシティホテル浜松（予定）

募集人員：約 40 名

参加費：約 5,000 円

5. 歯科衛生士教育講演会

開催が決定次第，ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

6. 臨床研修会

開催が決定次第，ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

各賞・助成選考結果

各賞・助成の詳細な選考経過につきましては，日本歯周病学会会誌第 56 巻 4 号に掲載しております。なお対象者および受賞者の所属は，会誌掲載時のものです。

シーズ育成若手奨励研究助成（2015 年度）

対象者氏名と研究課題は以下のとおりです。

伊東 孝（岡山大学病院歯周科）

「口腔バイオフィルム抑制用の多糖誘導体リン酸化プルランにおける歯面への付着と薬剤徐放性効果の分子イメージングによる機序解明」



細川義隆

（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部）
「歯周炎病変局所へのリンパ球浸潤機構の解析」



第 12 回会誌賞（2013 年度）

受賞論文と著者は以下のとおりです。

企画調査研究助成（2015 年度）

対象者氏名と研究課題は以下のとおりです。

大森一弘（岡山大学病院歯周科）

「継続的な歯周支援治療が認知機能維持に及ぼす効果の検討—pilot study—」



基礎論文

「ヒト歯槽骨骨膜由来細胞を用いた新たな細胞シート作製法」

55 巻 1 号：24-36，2013

志田哲也，高橋弘行，田胡和浩，出口眞二

筆頭著者所属：神奈川歯科大学
口腔治療学講座歯周病学分野



筆頭著者 志田哲也

第 14 回日本歯周病学会学術賞（2014 年度）

受賞者と研究課題は以下のとおりです。

岩田隆紀

（東京女子医科大学医学部）
「細胞シート工学と幹細胞を用いた再生医療の歯周組織再生への応用」



臨床論文

「重度歯周炎患者の歯周治療の予後に影響を及ぼす患者レベルのリスク因子分析」

55 巻 2 号：170-182，2013

三辺正人，高野聡美，原井一雄，稲垣幸司，長岐裕子，漆原譲治，児玉利朗，香月麻紀子，杉山貴志，佐藤トク子，河野寛二，中西利依，東 克章，本田三奈，中澤正絵，清野浩昭，谷口威夫，堀内順子，山本裕子，金子 至，伊藤美穂，牧野 明，畔川澄枝，加藤万里，野口俊英

筆頭著者所属：文京通り歯科クリニック



筆頭著者 三辺正人

第57回春季学術大会優秀臨床ポスター賞

受賞者と受賞演題は以下のとおりです。

最優秀ポスター賞

藤本俊男（藤本歯科長州医院）
「侵襲性歯周炎患者の10年経過症例」



優秀ポスター賞

水谷幸嗣
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野）
「マイクロサージェリーにてエムドゲイン®による歯周組織再生療法を行った侵襲性歯周炎の一症例」



第57回春季学術大会ベストハイジニスト賞

受賞者と受賞演題は以下のとおりです。

齋藤成未
（東京医科歯科大学（TMDU）歯学部附属病院歯科衛生保健部）
「侵襲性歯周炎の治療から気づいたこと—SPTの大切さ—」



第1回 若手研究者の集い合宿研修会開催報告

若手研究者のモチベーションを高めるとともに異なる研究室間の交流を促進し、歯周病学会をさらに活性化したいという永田前理事長の意向を受け、学会あり方委員会で検討を行い、大学院生あるいは大学院修了直後の若手を対象とした合宿研修会を実施しましたので報告いたします。

ある特定の研究テーマに絞るよりは、気軽に参加でき、しかも自分のキャリア形成にも役立ててもらえるようにと、第1回目は海外留学をテーマとしました。大盛況のうちに閉会した第57回秋季日本歯周病学会学術大会（大会長：東京医科歯科大学 和泉雄一教授）の熱気もさめやらぬなか、参加者は学会場よりバスに分乗して明石海峡大橋を臨む地にある舞子ヴィラに移動し、合宿研修会が始まりました。

第1日目は永田前理事長のご挨拶の後、米国フォーサイス研究所 河井敏久先生による特別講演がありました。河井先生は大学院修了後に現在のフォーサイス研究所に留学され、そのまま研鑽を積み重ね、現在はこちらの研究室を主催しています。参加者は、留学についての苦労話から研究テーマの決め方、実際の成果にいたるまで、ジョークを交えながらの軽妙な語り口に魅了されていました。その後、懇親会となりましたが、最初は少々緊張気味であった大学院生もお酒が進むにつれ交流の輪が広がり、他大学の教員ともよもや

ま話が弾み、あっという間の閉会になりました。若手同士の交流は、追加のお酒を用意して深夜にまで及んだと後で聞き、主催者の一人として大変うれしく思いました。

第2日目は大阪大学 北垣次郎太先生、東京歯科大学 衣松高志先生、新潟大学 中島貴子先生、広島大学 加治屋幹人先生よりそれぞれご自身の留学経験談を拝聴しました。留学先や研究環境は違っても、いずれの先生も語学や生活での苦労を乗り越え、楽しく、有意義な留学生活をおくられたことを話されました。

後日アンケート調査を行いました。ほとんどの参



加者より、有意義でモチベーションが高まったとの感想をいただき、本会の目的が達成されたと安堵しております。

最後に、今回の合宿研修会開催にご尽力いただいた

すべての先生方、とりわけ WG をとりまとめていただいた広島大学 藤田 剛先生に感謝いたします。

(学会あり方委員会前委員長 山崎和久)



神戸大会（2014 年度秋季学術大会）での学会主導型シンポジウム開催報告

「新しい医療の実現：日本歯周病学会が果たすべき学術的・医療的・社会的役割」と題して、学術大会プログラム委員会（吉江弘正委員長）が企画する学会主導型シンポジウムを研究委員会の案に基づいて開催しました。

歯周病学の発展によって、歯周病の病因と全身的な影響が理解され、さらには治療法が発展してきました。そして、歯周病内科の新領域を創って歯周病治療の役割は全身の健康を保持・増進することであると示しました。広く医療のなかで発展していくには、医療関係者全般から理解される評価指標をもち、企業や自治体が行う健診にも組み込まれることが必要です。一方で、就業者人口が減少している日本では、医療福祉費の適正使用が強く望まれていますので、健診とそれによる生活習慣の変化によって、疾病を発症前あるいは軽度なうちに健康状態へ回帰させることが重要になっていきます。このような時代にこそ日本歯周病学会には、歯科医療業界、保険業界、そして政府と共同して、「健康日本 21」の中で「危険状態」とされる歯周病に対して、歯科医療界単独ではなく日本社会全体として対応することを提案していくことが必要です。

そこで、以下のメンバーで本テーマに関して考えました。

座長：永田俊彦 前理事長

高柴正悟 研究委員会前委員長

シンポジスト：

- 1) 歯周病学会：栗原英見 医療委員会委員長
「医歯連携における歯科医療・歯周病治療のあり方」
- 2) 歯科関連企業：西永英司 氏（ライオン株式会社）
「唾液による総合的な口腔検査法のチェアサイドへの応用に向けた取組み—多項目唾液検査システム（AL-55）の開発」
江口 徹 氏（サンスター株式会社）
「Mouth & Body の視点で企業が果たす社会的役割」
- 3) 健康保険関連者：赤塚俊昭 氏（健康保険組合連合会・NPO 健康情報処理センターあいち）
「歯科・医科医療費の相関分析—歯の健康が身体の健康を支える」
- 4) 医療俯瞰者：南 砂 氏（読売新聞東京本社 調査研究本部）
「メディアの立場から—メディカルケアからヘルスケアへ、意識の転換を」

栗原医療委員長には医歯連携医療を実行するために必要な日本歯周病学会の姿勢とアクションを、西永氏には歯科界が効果的・包括的に歯科的な口腔状況を把握する検査を、江口氏には医歯連携医療の展開による社会への貢献に関する歯科関連企業の責務を、赤塚氏には元株式会社デンソー 健康保険組合常任理事としてのご経験に基づいて企業における歯科の健診と治療

が医療費全体に好影響をもたらしたことを、そして南氏には広くメディアからの視点で日本は「医療」の概念が転換する時期にあることを、提示していただきました。

このように、本シンポジウムでは、「トラブルシューティング型医療から投資型医療への転換」における歯周病学会の方向性を考えたのです。

(研究委員会前委員長 高柴正悟)

利益相反への取り組みに関するお知らせ

近年、医学および歯科医学研究分野における産学連携の発展には目覚ましいものがあり、科学研究費などの公的資金以外の研究資金としてその重要性が高まっています。一方、産学連携研究の規模が大きくなればなるほど、研究者の科学的な興味と企業の利益とが相反する状態、いわゆる、利益相反状態（Conflict of Interest：COI）に陥る可能性が高くなります。大学などの研究機関においては、すでに利益相反にかかわる規程等を定め、当該研究機関と所属する研究者を深刻な利益相反状態から回避させる取り組みが行われています。また、医科系学会においても数年前から同様の取り組みが行われ、多くの学会で利益相反に関わる指針・細則等を制定しています。歯科においては、平成26年3月に日本歯科医学会から「歯科医学研究等のCOI指針策定に関するガイドライン」が制定され、所属専門分科会等に利益相反指針などの制定を求めています。

日本歯周病学会では、永田前理事長が利益相反に取り組む方針を明確にされ、前倫理委員会において指針等の策定に取り組んできました。その結果、平成26年第2回理事会において、利益相反指針・細則・それに付随する自己申告書・開示用スライドが承認され、平成27年4月1日から2年間の暫定施行期間において施行されることになりました。これは、歯科関連学会では初めてとなり、ほかの学会に先駆けてその取り組みを社会に示すこととなります。今回の指針において根幹となる考え方は、研究活動に企業等からなんらか

のサポートを受けている場合は、それらを自己責任において開示しなければならないということです。まず、各学会員には、学術大会における研究発表あるいは日本歯周病学会会誌への投稿の際に、自己申告書の提出が必要となります。これには、研究遂行にかかわる資金の供給源を開示することによって、研究成果のより客観的な公表と評価を可能にするという意図があります。具体的には、平成27年度秋季学術大会の演題登録時および学会誌第58巻1号への投稿開始時から、自己申告書の提出が求められます。暫定期間中の提出は努力目標ですが、平成29年度からは必須となります。また、平成27年度からの本学会理事についても、就任時に自己申告書の提出が求められます。これには、本学会が学会として利益相反に取り組んでいることを社会に示す目的があります。

本学会ホームページに、策定された指針・細則・自己申告書様式・開示用スライド様式および指針等の運用要領がアップされています。平成27年4月の暫定施行期間開始に向けてぜひお目通し下さい。また、同時にCOIに関するQ & Aも掲載しています。Q & Aは多岐に及んだ詳細なものであり、お読みいただくことで、COI全般および本学会でのCOIへの具体的な取り組みに対する理解がより一層深まるものと思います。また、追加の質問もお受けしますので学会ホームページをご参照ください。

(倫理委員会委員長 古市保志)

日本歯周病学会会員カード発行に際してのお願い

日本歯周病学会では、平成27年4月に会員サービスについてさまざまなリニューアルを行いました。列挙しますと、正会員・準会員制度の施行、年会費値上げとそれに伴う学術大会時における会員参加費の低減化、学会会誌の完全オンライン化とニュースレターの発行などですが、今回は特に会員カードの発行の概要

につきお知らせしたいと思います。

会員カードは皆様の本学会員のステータスを証明するものであり、会員氏名・種別・会員番号と併せてバーコードが印刷されています。このようなカードを発行した目的は、学術大会時における参加登録や各種認定資格更新のための自動単位登録システムを近い将来に

導入し、運用を行うことです。まずは、学会員として学術大会参加費低減の特典を受けるための会員資格確認に用いていきたいと考えています。今年の秋季大会でのトライアル後、次年度中からの運用を目指していますが、同時にメールによる会員への各種通知配信などのサービスを開始したいと考えています。これはニュースレターの発行が年2回のみなので、会員の皆様にオンタイムで情報発信を行いたいためです。

つきましてはカードの取得に際して、学会会員向け情報サイト OHASYS への E-mail アドレス登録をいただくようお願い申し上げます。登録の際は、OHASYS (https://ohasys.net) にログインの上、個人情報
の変更手続の欄にて E-mail アドレスを正確にご入力
、あるいはすでに入力されている場合は正しいこと
をご確認ください。5 月末日までにご登録いただきました各位には 7 月以降にカードを発行し、本年の秋季学術大会からご利用可能となります。すでに 2 月末日までに学会誌同封の葉書にて、または 3 月 15 日まで

に OHASYS より E-mail アドレスをご登録ずみの方は、5 月以降にカードを発行予定です。

なおカードの発行にあたりましては、2014 年度分までの会費が納入済みであることが必要です。過去に会費の未納等がある場合には、会員特典を受けられないこととなりますのでご注意ください。また、カードは OHASYS に登録のご住所に送付されます。皆様におかれましては、この機会に OHASYS にてご所属・ご住所・E-mail アドレスなどの会員ステータスをご確認くださいようお願いいたします。

※OHASYS をご利用いただく際は、会員番号が必要です。会員番号は、ニュースレター送付時の封筒の宛名ラベルに記載されています。また会員番号はさまざまなサービスを受ける際の基本情報として必要ですので、ご記録をいただければありがたく存じます。

(広報委員会)

役員名簿

日本歯周病学会役員（平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

理事長	和泉雄一	副理事長	小方頼昌				
常任理事	梅田 誠	栗原英見	齋藤 淳	坂上竜資	佐藤 聡	澁谷俊昭	申 基 詰
	中島啓介	西村英紀	野口和行	古市保志	森田 学	山本松男	吉江弘正
	吉成伸夫	山崎和久	東 克章				
前理事長	永田俊彦	監 事	新井 高	前田勝正			
庶務担当	村上伸也	(幹事 水谷幸嗣)	会計担当	沼部幸博	(幹事 青山典生)		
名誉会員	河西一秀	岩本義史	末田 武	岡本 莫	中村恭政	雨宮 璋	見明 清
	川崎 仁	中村治郎	堀内 博	二階宏昌	岡田 宏	加藤 熙	上野和之
	村山洋二	滝口 久	斎藤和子	栢 豪洋	村井正大	齋藤 滋	鴨井久一
	長谷川 明	石川 烈	太田紀雄	亀山洋一郎	岡本 浩	矢嶋俊彦	渡邊達夫
	宮下 元	奥田克爾	山田 了	角田正健	新井 高	上田雅俊	横田 誠
	零石 聰	伊集院直邦	下野正基	川瀬俊夫	Alice DeForest	Pierre C. Baehni	
	安孫子宜光	伊藤 公一	前田勝正	Martin A. Taubman	野口俊英		

評 議 員 ●理事長 ●副理事長 ●常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科	新潟大学大学院医歯学総合研究科	渡辺 久(歯周病学, 准)
○川 浪 雅 光(歯周・歯内, 教)	◎○吉江弘正(歯周診断・再建学, 教)	萩原さつき(歯周病学, 講)
菅 谷 勉(歯周・歯内, 准)	奥田一博(歯周診断・再建学, 准)	青 木 章(歯周病学, 講)
北海道医療大学歯学部	久保田健彦(歯周診断・再建学, 講)	○木下 淳博(教育メディア開発学, 教)
◎○古市保志(歯周・歯内, 教)	◎○山崎和久(口腔生命福祉学, 教)	荒川 真一(生涯口腔保健衛生, 教)
加藤幸紀(歯周・歯内, 講)	川瀬知之(歯科薬理学, 准)	小田 茂(総合診療部, 准)
長澤敏行(臨床教育管理運営, 教)	小林哲夫(歯科総合診療, 准)	新田 浩(歯科医療行動科学, 准)
森 真 理(高度先進保存, 講)	中島貴子(歯学教育, 講)	東京歯科大学
岩手医科大学歯学部	杉田典子(総合病院, 講)	◎○齋藤 淳(歯周病, 教)
○八重柏 隆(歯周病学, 教)	明海大学歯学部	富田幸代(歯周病, 講)
東北大学大学院歯学研究科	◎○申 基 詰(歯周病, 教)	○石原和幸(微生物, 教)
根本英二(歯内・歯周, 准)	辰巳順一(歯周病, 准)	伊藤 太一(口腔インプラント学, 講)
庄 司 茂(歯内・歯周, 講)	林 丈一朗(歯周病, 准)	杉戸博記(口腔健康臨床科学, 准)
奥羽大学歯学部	○荒木久生(オーラルリハビリテーション学, 教)	日本歯科大学生命歯学部
○高橋慶壮(歯周病学, 教)	東京医科歯科大学	◎○沼部幸博(歯周病, 教)
大島光宏(薬学部, 教)	大学院医歯学総合研究科	伊藤 弘(歯周病, 准)
	◎○和泉雄一(歯周病学, 教)	関野 倫(歯周病, 講)

○仲谷 寛(総合診療, 教)
大澤 銀子(総合診療, 講)
川村 浩樹(総合診療, 准)
日本歯科大学新潟生命歯学部
◎○佐藤 聡(歯周病, 教)
両角 祐子(歯周病, 准)
大森みさき(総合診療科, 准)
阿部 祐三(総合診療科, 准)
坂井 由紀(歯科衛生科, 衛)
日本大学歯学部
佐藤 秀一(歯周病, 教)
菅野 直之(歯周病, 准)
吉沼 直人(歯周病, 講)
落合 邦康(細菌, 教)
日本大学松戸歯学部
●○小方 頼昌(歯周治療, 教)
中山 洋平(歯周治療, 講)
落合 智子(感染免疫, 准)
中村 悦子(付属病院, 衛)
昭和大学歯学部
◎○山本 松男(歯周病, 教)
須田 玲子(歯周病, 准)
滝口 尚(歯周病, 講)
神奈川歯科大学
○三 辺 正人(歯周病, 教)
秋月 達也(歯周病, 講)
菅谷 彰(総合教育, 教)
山本 龍生(社会歯科, 准)
高橋 理(組織, 教)
田村 利之(横浜研修センター, 講)
鶴見大学歯学部
○五味 一博(歯周病学, 教)
金指 幹元(歯周病学, 講)
長野 孝俊(歯周病学, 講)
渡辺 孝章(短期大学部, 教)
小林 一行(短期大学部, 准)
吉川 景子(付属病院, 衛)
松本歯科大学
◎○吉成 伸夫(保存(歯周), 教)
石原 裕一(保存(歯内), 教)
音 琴 淳一(健康増進口腔科学, 教)

宇田川 信之(生化学, 教)
田口 明(歯科放射線学, 教)
藤井 健男(総合診療室, 教)
西 窪 結香(大学病院, 衛)
朝日大学歯学部
◎○澁谷 俊昭(歯周病, 教)
北後 光信(歯周病, 准)
安田 忠司(歯周病, 講)
荒木 美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)
愛知学院大学歯学部
◎○三谷 章雄(歯周病学, 教)
林 潤一郎(歯周病学, 講)
菊池 毅(歯周病学, 講)
稲垣 幸司(短期大学部, 教)
○福田 光男(特殊診療科, 教)
大阪歯科大学
◎○梅田 誠(歯周病学, 教)
田口 洋一郎(歯周病, 講)
○田中 昭男(口腔病理, 教)
大浦 清(薬理, 教)
前田 博史(口腔治療, 教)
王 宝 禮(歯科医学教育開発室, 教)
合田 征司(生化学, 講)
大阪大学大学院歯学研究科
◎○村上 伸也(口腔治療, 教)
北村 正博(口腔治療, 准)
山田 聡(口腔治療, 講)
○恵比須 繁之(歯科保存, 教)
徳島大学歯学部
○永田 俊彦(歯周歯内, 教)
木戸 淳一(歯周歯内, 准)
大石 慶二(歯周歯内, 講)
成石 浩司(大学病院歯周病科, 講)
伊藤 博夫(予防歯学, 教)
尾崎 和美(口腔保健学, 教)
広島大学歯学部
◎○栗原 英見(歯周病態学, 教)
柴 秀 樹(歯髓生物学, 教)
藤田 剛(大学病院, 講)
水野 智仁(大学病院, 講)
宮内 睦美(病理態学, 准)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
○高柴 正悟(歯周病態学, 教)
◎○森田 学(予防歯科学, 教)
九州歯科大学
◎○中島 啓介(歯周病, 教)
臼井 通彦(歯周病, 准)
久保田 浩三(口腔科学, 准)
○西原 達次(感染分子生物学, 教)
九州大学大学院歯学研究院
◎○西村 英紀(歯周制御, 教)
濱地 貴文(大学病院歯周病科, 講)
福岡歯科大学
◎○坂上 竜資(歯周病, 教)
永井 淳(地域連携センター, 教)
金子 高士(口腔医療センター, 教)
鹿児島大学歯学部
◎○野口 和行(歯周病, 教)
松山 孝司(歯周病, 准)
町頭 三保(付属病院, 講)
白方 良典(付属病院, 講)
長崎大学歯学部
○原 宜興(歯周病学, 教)
吉村 篤利(歯周病学, 准)
鵜飼 孝(歯周病学, 講)
日本医科大学
鴨井 久博(総合医療・健康科学, 准)
慶應義塾大学
○中川 種昭(歯科・口腔外科, 教)
穂坂 康朗(歯科・口腔外科, 講)
東京女子医科大学
岩田 隆紀(先端生命, 講)
静岡県立大学短期大学部
吉田 直樹(歯科衛生学科, 准)
神戸常盤大学短期大学部
溝部 潤子(口腔保健学科, 教)
日本歯科大学東京短期大学
野村 正子(歯科衛生科, 衛)
九州看護福祉大学
金子 憲章(口腔保健学科, 教)

一般関係(五十音順)

赤堀 康(愛知県)
新井 英雄(岡山県)
○有田 博一(東京都)
飯野 文彦(東京都)
○池田 雅彦(北海道)
池田 康男(静岡県)
石谷 昇司(東京都)
磯島 修(岡山県)
市丸 英二(佐賀県)
市村 光(埼玉県)
伊藤 正満(愛知県)
岩本 義博(香川県)
内田 剛他(神奈川県)
梅村 昌孝(愛知県)
江澤 庸博(東京都)
遠藤 憲行(岩手県)
大石 美佳(徳島県)
○大野 友三(愛知県)

岡部 京平(京都府)
長田 豊(長崎県)
鬼塚 得也(福岡県)
笠原 信治(徳島県)
片山 明彦(東京都)
加藤 義弘(北海道)
金子 至(長野県)
河口 浩之(広島県)
蒲沢 文克(北海道)
菊池 重成(東京都)
北村 秀和(東京都)
木村 英隆(福岡県)
熊谷 敦史(岩手県)
黒柳 隆穂(愛知県)
郷家 英二(東京都)
河野 寛二(奈良県)
小島 丈尚(東京都)
○児玉 利朗(神奈川県)

小林 博(東京都)
佐瀬 聡良(千葉県)
真岡 淳之(滋賀県)
澤田 弘一(岡山県)
汐見 登(静岡県)
洪川 義宏(北海道)
篠原 啓之(徳島県)
島内 英俊(宮城県)
島袋 善夫(大阪府)
白木 雅文(岐阜県)
杉山 貴志(神奈川県)
鈴木 康司(東京都)
鈴木 丈一郎(神奈川県)
鈴木 基之(東京都)
関野 仁(東京都)
田井 秀明(新潟県)
瀬戸 口尚志(鹿児島県)
高橋 潤一(東京都)

滝川 雅之(岡山県)
田中 繁寿(岐阜県)
谷 真彦(長崎県)
谷 芳子(長崎県)
谷口 崇拓(長野県)
玉澤 かほる(宮城県)
佃 宣和(北海道)
土岡 弘明(千葉県)
富井 信之(新潟県)
西原 勉彦(福岡県)
長谷川 嘉昭(東京都)
◎○東 克章(熊本県)
平野 治朗(神奈川県)
平野 裕之(京都府)
廣瀬 哲之(神奈川県)
藤川 謙次(東京都)
藤瀬 修(大阪府)
藤本 淳(岩手県)

○船越 栄次(福岡県)	松原 成年(岐阜県)	村橋 慶宣(大阪府)	梁川 輝行(岩手県)
保坂 均(群馬県)	峯柴 淳二(岡山県)	茂木 信道(神奈川県)	吉永 英司(東京都)
本郷 興人(北海道)	宮尾 益桂(新潟県)	吉野 敏明(神奈川県)	○若林 健史(東京都)
松下 健二(愛知県)	村田 雅史(新潟県)	安井 聡志(東京都)	渡辺 和志(埼玉県)

賛助会員

朝日医理科(株)	サンスター(株)	日本歯科薬品(株)
医歯薬出版(株)	サンデンタル(株)	バイオメット 3i ジャパン(株)
(株)インサイト	三宝製薬(株)	白水貿易(株)
エビス(株)	(株)ジーシー	(株)白鵬
(株)エフ・アール・エス	(株)松風	Hu-Friedy Japan (株)
(有)エルバ	昭和薬品化工(株)	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)
長田電機工業(株)	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	(株)モリタ
花王(株)栃木研究所	ストローマン・ジャパン(株)	(株)ヨシダ
クインテッセンス出版	タカラベルモント(株)	ライオン(株)
グラクソ・スミスクライン(株)	デンタルプロ(株)	(株)ワイディエム
合同酒精(株)	デンツプライ三金(株)	わかもと製薬(株)
小林製薬(株)	(株)トクヤマ	
佐藤製薬(株)	(株)ニッシン	(五十音順)

【お願い】 名称の変更・所属評議員の移動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

日本歯周病学会の会員の皆様には、平素お世話になっておりますことを心から御礼申し上げます。さてこのニュースレターがお手元に届く頃には春も進み、また新たな年度が始まり、皆様にはお忙しい日々をお過ごしのことと思います。さて本会は2015年度から新たな制度をスタートさせております。いくつか挙げさせていただきますと、①正会員・準会員制度の発足、②年会費変更とそれに伴う学術大会参加費の低減化、③会員カードの発行、④本会会誌のオンライン化、そして5番目にあたるのがニュースレターの発行です。

本号が創刊号となりますが、今後2回、学術大会抄録集に同梱する形で皆様のお手元に届けさせて頂くこととなります。内容につきましては、ご一読頂ければおわかり頂けますように、これまで会誌の付き物として掲載していた会告やお知らせに加えて、その時折のトピックスを新たに掲載しております。会員の皆様には正確な情報が必要な時期に伝わりますように編集していますが、紙面の制限から本会ホームページとセットで用いるようになっております。どうぞ日々ホームページのチェックもお忘れないようにお願いいたします。

本年の4月から和泉雄一理事長が就任され、広報委員会も森田新委員長の下、新たな体制でニュースレター編集、ホームページ更新という会務を行っていくことになっております。何か本冊子に関するご要望等がありましたら、どうぞ広報委員会までご一報ください。

最後になりますが、日本歯周病学会は会員総数が1万人を超えようとしており、歯科においては日本で1、2を争う規模の学会となりました。しかし、今後も常に時代の流れを見極めて、変化を遂げていく学会でもあります。皆様におかれましては、今後も会務へのご協力をお願いいたします。

(前広報委員会委員長 島内英俊)